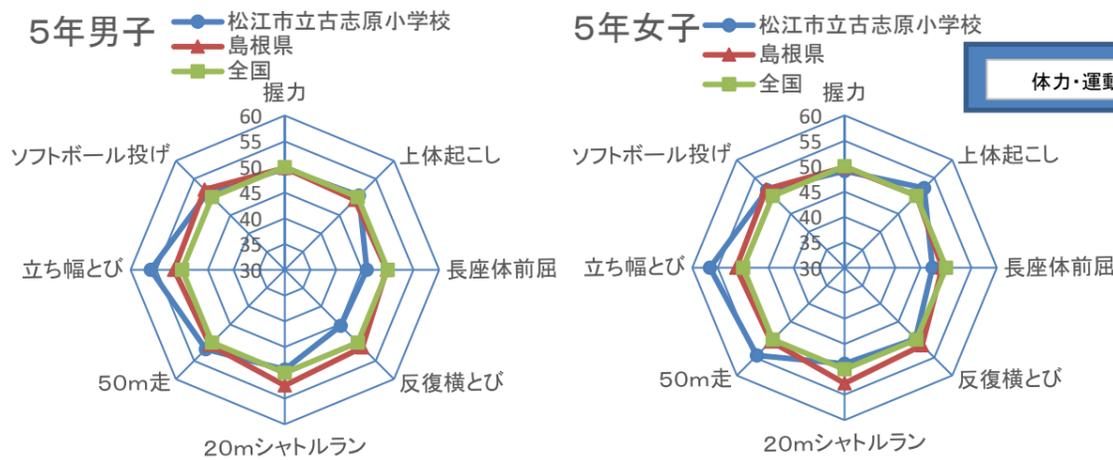


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

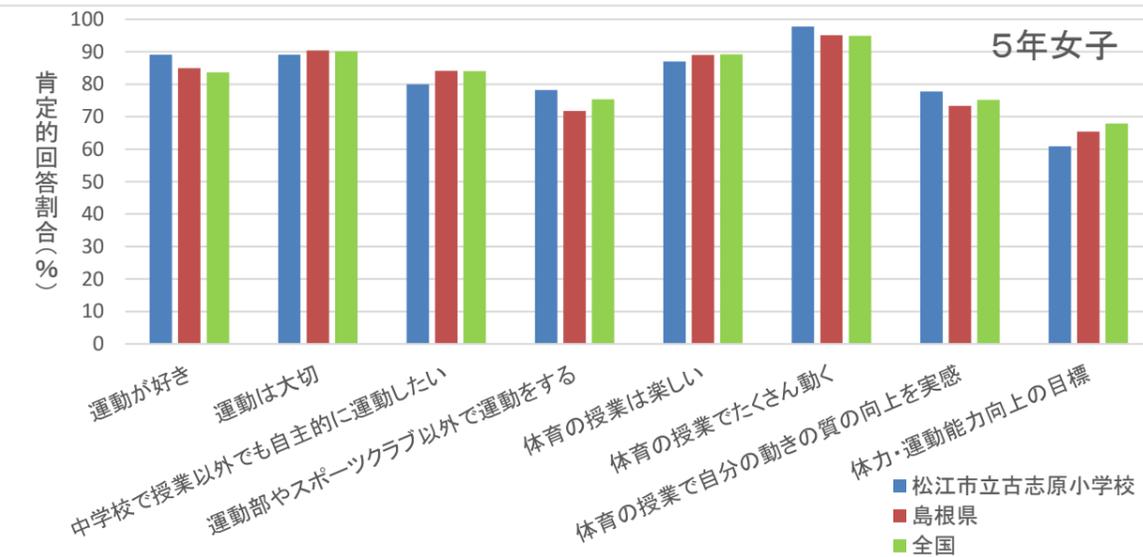
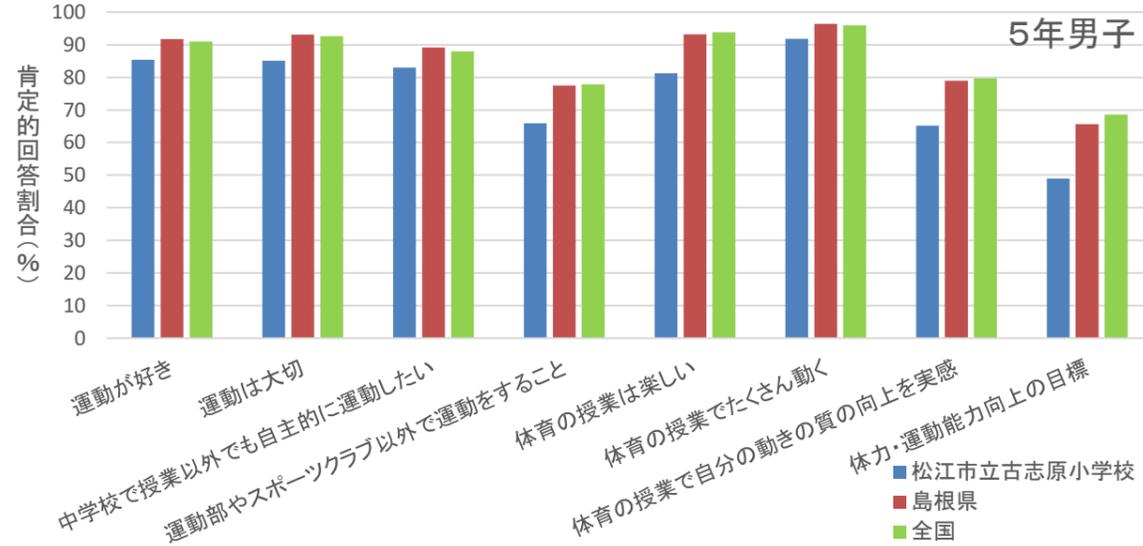


(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面

強み
○男子では「立ち幅とび」「50m走」が全国平均を上回っている「瞬発力」「スピード」が強みである。 ○女子では「立ち幅とび」「50m走」が全国平均を上回っている「瞬発力」「スピード」が強みである。
課題
●男子では「反復横跳び」「長座体前屈」が全国平均を下回り「敏捷性」「柔軟性」が課題。 ●女子では「20mシャトルラン」「長座体前屈」において全国平均を下回り「全身持久力」「柔軟性」が課題。
次年度の対策
○体育授業に継続的に柔軟性を高める運動を取り入れる ○ウォーミングアップとして縄跳びや鬼ごっこなどを取り入れ、敏捷性を高める活動を継続的に行う。 ○全身持久力の向上のため、体育授業での運動量の確保を重点的に行う。

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



② 意識面

強み
○男子では全国平均よりも高い割合の項目はない。 ○女子では特に「運動が好き」「体育授業で自分の動きの質の向上を実感している」の割合が全国平均よりも高い
課題
●男子では特に「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○子どもたちが運動に興味をもつきっかけになるような活動を授業の内外で行う。 ○授業のめあてだけでなく、個人目標をもって学習に取り組めるよう授業の在り方を検討し実施する。 ○運動が苦手な子も取り組みやすいよう、運動技能に応じた場の設定を行う授業の在り方を検討し、共有する。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
 - ・長期休業中に体育に関する研修を企画・実施する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
 - ・年度初めに年間指導計画と指導内容系統表を配り、職員会議で説明することで、体育科の授業内容の系統を意識した授業を行うよう促す。
 - ・授業づくりや授業マネジメント体育科授業バイブルを配付し、共通ルールの確認や授業内で行える工夫の具体例などを共有する。
 - ・「〇月の体育」のような体育だよりを定期的に出し、指導のポイントなどを発信する。
 - ・導入したモニターの活用方法などを検討し、活用事例を共有する。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
 - ・冬場などの外遊びが難しい時期にできる安全な室内運動について検討し、必要な用具等の補充をする。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策のため、市や県での大規模な体育的行事が中止となった場合、規模を縮小して十分な感染症対策を行ったうえで、校内行事で代替する。
 - ・各教室にボールや縄跳び等の運動をするための用具の配布と整備を行う。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
 - ・学校だよりや保健だよりの中で、運動や健康に関するテーマを取り上げ啓発を図る。
 - ・普段の運動の様子などを家庭や地域に定期的に発信する方法を検討し、実施する。